



旅する大工  
つながる大工  
話せる大工

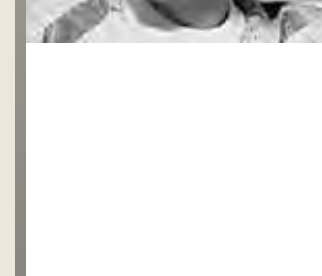
中村建築代表  
中村武司さんに聞く  
つくり手インタビュー 第二回



Like 0 0 ポスト

### 中村建築 代表 中村武司さん

名城大学 建築学科を90年に卒業後、父親の元で大工の修行を積むかたわら 高山建築学校や日本建築セミナーなどに足繁く通う。幅広い視野を持った人たちとの交流が、大工としてのあり方を見直す契機となった。また、ミニコミ誌「木の住まい」と出会い、大工の面白さに目覚め、そこで知り合った他の大工たちと各地で協働するようになる。98年に埼玉県初の雁木材の下小屋を伝統的構法でつくる際に棟梁として関わり、その後、数件の個人住宅づくりで仕事の幅を広げる。現在、36歳。



### 建築少年、大工の三代目を継ぐ

名古屋の生まれで、実家はじいさんの代からの大工です。建築学科に通った大学時代は、ポストモダンが華やかなり頃。ぼくも安藤忠夫、毛綱毅剛、原広司なんかが大好きな「建築少年」でした。コンクリートの分かりやすい造形美に憧れていて、木造についても関心の対象は数寄屋や寺社。住宅にはあまり興味はありませんでした。ただ、夜間部だったので、昼間は親父の仕事を手伝ってはいました。

卒業する頃には建築にもちょっと飽きていて、なんとなく大工しながら、高山建築学校（\*1）のサマースクールに行ってみたり、「日本建築セミナー」という勉強会が月一回東京に出たり、建築とは縁の切れない生活をしていました。

\*1 高山建築学校

1972年に故・倉田康男（法政大学工学部建築学科講師）が開設した私設の建築学校。飛騨高山の隔絶された場所で夏の限られた期間を、課題、講義、セルフビルドに費やす。今でも活動は継続している。

### 雑誌「木の住まい」との出会い



転機になったのは、「木の住まい」というミニコミ誌との出会いです。これは自分の木の家づくりの体験を「楽しんで作った心にかなう住まい」（彰国社刊）という一冊の本にまとめられた仙台の林孝さんが、その本だけでは飽きたらず、いろいろな木の家づくり、大工の話などを集めた雑誌を発刊したものの。名古屋近辺の「木の住まい」読者の集まりがあるというので誘われて、でかけたのです。

集まりに来ていた林さんが、伊那の富澤博之さん、長崎の池上算則さんといった大工たちとぼくとをつないでくれました。「本当は伝統工法をやってみたいんだけど、普段はハンパン叩けばできてしまうような仕事ばかりで…」なんていう話から「木の住まい」主催の「建前学校」が開かれることに。林さんのマメさのおかげで、若い大工が各地での「建前学校」にでかけるようになったのです。それがぼくにとって、同じ思いをもった大工同士が集まって話をする、という初めての機会でした。

### 建前学校で全国を飛び回る



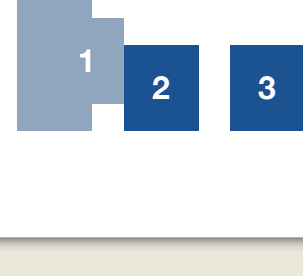
建前学校とは、伝統的な継手・仕口で刻んだ構造材を実際に現場で組む「建前」を手伝うことで、木組みを学ぶには最適の実践の場です。自分の仕事の範囲だけではなくなかなか積めない経験を重ねられたこと、そしてそこで全国の若い大工同士のネットワークができたことがとてもありがたかったです。94年群馬県の「安中の家」を皮切りに、埼玉、福島、東京、長野とあちこちに出かけていき、金物に頼らない伝統的な木組みの技術をだんだん覚えていくことを続けました。最近では、長崎、広島とエリアは広がっています。そこで出会った大工仲間と「棟梁に学ぶ家」のある三宅島へのツアーを企画したり、建前や古民家の解体などの場面でわっと集まって仕事するというような協力関係も生まれました。

「面白い仕事があるなら、遠くても駆けつけたい！」そんな職人集団は、昔から徒弟制度が強かった大工の世界にもなかったし、まして、効率第一の今の時代にはめずらしいですね。でも、いるんですよ。そんな仲間が！



左/金輪継ぎで梁をつなぐ（98年7月/杉並）右/掛矢で梁を叩いて渡り脚（あご）を取る（95年12月/上尾）※このページの白黒写真は3点ともミニコミ誌「木の住まい」より

Like 0 0 ポスト



### 木の家のイベントカレンダー

#### 最近の特集記事

- 2019年6月16日 やさしくて強い、理想の家を求めて：アイ設計研究室 大前泰秀さん
- 2019年6月16日 磨き上げた職人技で、木を生かす：西岡建築一級建築士事務所 西岡健一さん
- 2019年4月20日 大工と左官の職人プロジェクトチーム 総合建築植田 植田俊彦さん 後司さん
- 2019年4月10日 本物の家づくりを、自由に、楽しんで：株式会社木神楽 高橋一浩さん
- 2019年1月5日 新春特集 2018年のベストショット集
- 2018年12月29日 飯倉飯設住宅 移設ものがたり part3 大工の声と今後の課題編
- 2018年12月17日 飯倉飯設住宅 移設ものがたり part2 実録編
- 2018年12月14日 飯倉飯設住宅 移設ものがたり part1 概要編
- 2018年9月4日 番匠 鶏持工務店 副棟梁・鶏持大輔さん
- 2018年6月16日 鶴岡総会予告 その開催より、生き延びよ！

#### 人のある記事

- 伊勢神宮遷宮・御袖始祭り：300年の家づくり
- 18件のビュー
- 家のお風呂 ころやって作る、ころやって保つ
- 15件のビュー
- 設計士・川藤真さん（川藤建築計画）：小さな石場建ての家
- 11件のビュー
- 工務店・西條正幸さん（バイオプラス西條デザイン）：北海道で無垢の木の家づくり
- 10件のビュー
- 設計士・吉川保さん（吉川設計舎）：木の家づくりは仕組みづくり
- 10件のビュー
- 大工・宮内善和さん（宮内建築）：大工が別荘する「水中大工」
- 8件のビュー
- 工務店・小田貴之さん（オグ工務店）：木の家づくりのプロデュース
- 8件のビュー
- 大工・池上算則さん（大工 池上）：長崎県産材100%の家ができるまで
- 8件のビュー
- 大工・高橋俊和さん（都幾川木建）：初原の営みに魅せられて
- 8件のビュー
- 大工・綾部孝司さん（綾部工務店）：原点回帰
- 7件のビュー

#### この記事のタグ

サツキとメイの家  
日本文化と木の家  
顔の見える関係

#### 同じタグがついた別の記事

2005年4月27日 サツキとメイと私の家：妻・地球博レポート

2004年7月25日 五月組：あのサツキとメイの家を建てる

北海道	関東 (東京以外)	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
青森県	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
岩手県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
宮城県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
秋田県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
山形県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
	関東 (東京)	長野県		和歌山県	香川県	愛媛県
	東京都				高知県	



Like 0 ポスト



木の家づくりに関わりたい  
大工たちのネットワーク

## 「大工塾」

親父との仕事をしながら、機会があれば外に出て経験を積む、そんな生活をしているうちに、長野の富澤さん、長崎の池上さんとぼくの3人で埼玉県朝霞市にある初雁木材の新築工事の一部を任せてもらうというチャンスに恵まれ、ぼくはそのうちの下小屋（作業場）を、伝統的な木組みの仕事としては初めて、棟梁として請け負うことになりました。建前の手伝いとは違い、こんどは墨付け、刻みも自分の裁量でまとめあげることになり、悪戦苦闘しましたが、仲間たちにも助けてもらいながら、一ヶ月半後には無事上棟することができました。

こうしてぼくを含め、若い大工達の建てた小屋群が囲む中に、小学校の屋根組を再利用した「もくねっとハウス」(\*2)も建ち、98年5月からは、ここ2階の研修室で、月一回、一泊二日の「大工塾(当時の名称は「もくねっと大工塾」)」が始まりました。これは、丹呉明恭建築設計事務所と山辺構造設計事務所が事務局となって運営している、主に大工を対象にした勉強会です。どのような住宅に住み続け、どのような住宅を造り続けてゆくのか、造り手としてトータルな視点で考えてみたいという思いからはじまり、今まで動に頼ってきた大工の知識や技術に、ある程度科学的裏付けをし、棟梁として仕事をまとめていく上で関わってくるさまざまな問題に対する考え方を身につけよう、というものです。授業は土曜の夜の一時限と、日曜の午前中から昼にかけての二時限。講師には建築や構造、木材、ゴミ処理問題などの専門家が来ていただきました。福島、佐渡、群馬、長野、長崎…。全国から車で、夜行バスで、集まってくる大工たちは、土曜の夜は泊まり込み。経歴や年齢はちがっても、新しい大工像を模索している点では、同じ。夜が更けても話は尽きません。

### \*2 もくねっとハウス

モクネット事業協同組合の関東拠点として、埼玉県朝霞市に98年にオープン。建物自体が、産直の秋田杉並材を活かした木組みの家のショールームとなっている。

## 大工同士のネットワークを育てたい

ぼくはその大工塾の第一期生(98年5月~99年4月)として受講しました。山のこと、ヨーロッパでの職人の育成方法、産業廃棄物のこと…さまざまな講義があり、耐力壁実験など、構造実験もしました。これは、壁の構造によって、力を加えていったときにどのような変形・破壊のしかたの違いが出るのかを、自分たちの手と眼で実感できる、貴重な体験でした。大工塾に参加した大工同士のつながりはずっと続いていて、何よりの励みになっています。お互いの仕事を手伝う機会も多いし、これからもそうした連携はますます強まっていくでしょうね。2001年の4月から今年3月いっぱいまでは、第3期生が学んでいます。大工技術だけでなく、構造や環境、経営まで幅広い意識をもった若い大工たちが、お互いにつながりあいながら、これからの木の家づくりを担っていくことと信じています。

「職人がつくる木の家ネット」が、かつて「木の住まい」がそうであったように、大工をネットワークするものになっていくことを望んでいますし、そうなる日も遠くないと思っています。今ではまだまだパソコンを使わない大工も多いですが、近い将来にはみんながつながるためにあたりまえの道具になっていくでしょうね。ネットだけではなかなか話もできないから、集まれる範囲内で、若い大工や職人の自主的な勉強会をはじめ、なんていうのもいいですね。

## これから木組みの家づくりをめざす大工に伝えたいこと

去年の9月、静岡県湖西市に、ボルトなどを使わない木組みの仕事でまるごと一棟建てられた家が完成しました。丹呉明恭さんの設計で、棟梁として自分を選んでくれたのは、なんとお施主さんご本人。名古屋での「木の住まい」読者の会で、阪神大震災後の木造住宅の壊れ方を写真を見せながらレポートしたのを、聞いてくれていて、それでぼくを指名してくれたのです。

はじめから終わりまで自分でやってみて思ったのは、手間はかかるけれど、木組みの家を建てるというのはそうむずかしいことではない、とても基本的なことの積み重ねなんだ、ということです。基本的な上がり下がりの墨の打ちかた、追っかけ大栓、金輪などの主要な継手、渡り隠(あご)、重ほその納まりなどが分かっているれば、そんなに気負わなくて、できるんです。だから、今までやりたいけどやる機会がなかった、という大工でも、大丈夫。もちろん実践は必要。大工塾や木の家ネットなど、つながりをうまくたどっていけば、現場に学ぶ機会はあるはず。道は必ず開けます!



伝統的構法の住宅として、はじめて一棟まるごと自分で手がけた「静岡県湖西市、鈴木さんの家」

Like 0 ポスト



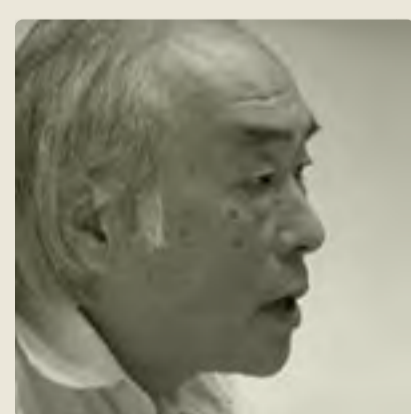
関連する記事はこちら



第14期 木の家ネット総会 岐阜・加子母大会



木の家ネット第9期総会・熊本大会の報告



鈴木祥之先生(立命館大学教授)：伝統構法で使える耐震設計法を探る



五月組：あのサツキとメイの家を建てる



家にお風呂が入るまで

### 木の家イベントカレンダー

#### 最近の特集記事

- 2018年3月27日 伝統建築に携わるすべての職人に光を
- 2018年2月7日 「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」ユネスコ無形文化遺産候補選定のおしらせ
- 2018年1月2日 新春特別企画 2017年のベストショット
- 2017年12月14日 第17期木の家ネット総会：倉敷大会-民家改修と曳家-
- 2017年10月14日 気候風土適応住宅のチラシができました!
- 2017年9月4日 家のお風呂 こうやって作る、こうやって保つ
- 2017年6月8日 家にお風呂が入るまで
- 2017年6月30日 気候風土適応住宅のススメ
- 2017年6月3日 掛川総会 3
- 2017年5月31日 掛川総会 2

#### 人気のある記事

- 伊勢神宮遷宮・御袖始祭りに：300年の大木を伐る！ 18件のビュー
- 家のお風呂 こうやって作る、こうやって保つ 15件のビュー
- 設計士・川端眞さん(川端建築計画)：小さな石場建ての家 11件のビュー
- 設計士・古川保さん(古川設計室)：木の家づくりは仕組みづくり 10件のビュー
- 工務店・西條正幸さん(ピオプラス西條デザイン)：北海道で無垢の木の家づくり 10件のビュー
- 大工・池上算規さん(大工 池上)：長崎県産材100%の家ができるまで 8件のビュー
- 大工・高橋俊和さん(都幾川木建)：初原の営みに魅せられて 8件のビュー
- 大工・宮内寿和さん(宮内建築)：大工が挑戦する「水中乾燥」 8件のビュー
- 工務店・小田貴之さん(オダ工務店)：木の家づくりのプロデューサー 8件のビュー
- 設計士・岩波正さん(三和総合設計)：なんで木の家がいいのか、とことん考える 7件のビュー

#### この記事のタグ

- サツキとメイの家
- 日本文化と木の家
- 顔の見える関係

#### 同じタグがついた別の記事

- 2004年7月25日 五月組：あのサツキとメイの家を建てる
- 2005年4月27日 サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート

北海道・東北	関東(東京以外)	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東(東京)	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	

1 2 3

Like 0



## 「手間や時間がかかる」ことをどう納得してもらおうか？

木組みの家がなぜ那么容易には建たないのか。「手間がかかる」からです。ばくの普段の経験からいうと、木組み・真壁の家だと仕様によって幅はありますが、「坪当たりの人工（にんく）（\*3）」で、8〜10人工かかるとしています。住宅メーカーの家では2〜3人工、ふつうの工務店で建てる在来工法で5〜6人工が一般的といわれています。これだけ違うと施主の側でも建築工事費の内訳をやりくりして、大工手間にまわすにしても、やはり覚悟はいりますよね。

木の家には、ゆったりした時間をかけることも大事です。たとえば、木組みの家にはある程度乾燥状態のいい材を使いたいのですが、設計がある程度決まってきてから木拾い（\*4）をして発注するのは、すべてがうまく乾燥材で揃わない場合が多い。天然乾燥材のストックヤードをもっている、秋田のモクネットや徳島のTSウッドハウスのようなところでない、そこまで対応するのがむずかしいのが現実です。設計があらかた決まってきてから家が出来るまで、1、2年かかってもいい、というようなゆったりしたペースで進むのが本当はいいのですが…。

ちょっと前まであたりまえだった木の家づくりが、今では「金持ちでないとできないこと」と思われています。また、実際に、ある程度お金を出す施主でない、木の家を建てられないのも現実です。なんとかわゆる「ふつうの」人にでも木の家が建てられるような工夫をしていきたいです。予算に見合った形で、手間や仕様の融通を利かせていく工夫ももちろん必要ですが、作り手側の「無言の努力」だけでなく、施主に全体の工事費のバランスの中で大工にかかる費用の割合を理解してもらうことも大事です。要するに、作り手、住まい手双方の合意点を見いだしながら家づくりをしていくことですね。木の家に住みたい！という気持ちのある人には、ちゃんと話せば、手間や時間がかかることも理解してもらえ、と信じています。そこをきちんと説明できることも、これからの大工の仕事のひとつではないでしょうか。

\*3 人工（にんく）

土木建築関係で作業量をあらわす言葉。一人が一日でできる作業が「一人工」

\*4 木拾い

住宅に使う木材の長さや本数を把握し、材料調達準備をすること

## 住まい手とのコミュニケーションをとることも、大工に必要な能力

家が完成に向かうにつれて、台所はこうしたい、というような、設計の段階では出てこない住まい手の細かな希望がどうしても出てきます。変更によって発生する時間的・経済的リスクを施主と作り手の間でどう折り合っていくのか。そこを調整するのも大工の仕事です。湖西市の家では、いいお施主さんに恵まれました。どうしても、という変更に対してかかる時間やお金について「できあがりになるなら、それで遅れるのはかまわない」ということも納得してくれました。住まい手の希望を100%かなえることが必ずしもいいことではないでしょうが、少なくとも、そのことについて話し合い、リスクと希望とが折り合う、納得ができるところをいっしょに探っていく、そういうコミュニケーションを施主ときちんと取れることも、これからの大工にとって大事なことだと思いますね。

## その家に住む家族とずっとつきあっていける大工でありたい

そういった施主とのコミュニケーションは新築した時だけでなく、その家とともにずっと続くものであることが望ましいのです。昔の大工さんは、近所で大工仕事を頼むのはこの人、と決まっていた、「請負」ではなく「常雇（じょうよう）」といって、一日いくらで仕事をしたものなそうです。「この仕事は一括でいくら」と請け、短い日数で早く終わらせることで儲けをあげる今の働き方とは逆ですね。

「常雇」の大工の場合は、いわばホームドクターのようなもので、増改築や修繕など、「ちょっとここを直してよ」みたいなことを頼まれながら、ずっとその家に住む家族とつきあっていくのです。台風や洪水で浸水したりしたら「どうですか？」と見に行ったりしてね。家族との信頼関係がベースにあるから、下手なことはできない、ちゃんと丁寧にする。しぜんとそうなります。まさに顔の見える関係ですよね。住まうことについてのその家族の相談相手のような地域にねぎした大工になれば、というのが夢ですね。

談／中村建築 代表 中村武司さん

最後にぼくのお奨め本を。

『棟梁に学ぶ家 図解・木造伝統工法 基本と実践』

『棟梁に学ぶ家』グループ編著 彰国社刊 1989 棟梁に学ぶ家 図解・木造伝統工法 基本と実践

これは、素人に近い3人が三宅島の宮下棟梁の指導のもとで、伝統工法で建てる「棟梁に学ぶ家」の仕事の過程を通して棟梁に教えられたことを、実践的な技術書としてまとめたものです。私たちが若い大工が基本的な伝統技法を学ぶ時の一番の教科書になっています。



amazon.co.jpで購入できます

『木の住まい』（ミニコミ誌）

発行人：林孝 1993-1999 木の住まい（雑誌）

木の家づくりの楽しさを知った林さん（作り手ではなく、ふつうの住まい手。サラリーマンの方です）が、独力で編集・発行されている雑誌。住まい手の体験談や大工の生の声、「木の住まい」主催の建前学校のレポートなど、充実した内容で、93年から99年の17・18合併号まで刊行されました。多くの若い大工や、木の家に住みたい！という住まい手を引っ張ってきた雑誌としてとても貴重な媒体なのですが、現在は残念ながら休刊中。



連絡先=木の住まい事務局 仙台市宮城野区鶴ヶ谷北2-12-5 tel & fax 022-251-3154 林孝

Like 0

1 2 3

### 木の家イベントカレンダー

#### 最近の特集記事

- 2016年12月23日 掛川総会
- 2016年8月2日 込み栓角ノミ復活！松井鉄工所訪問記
- 2016年6月21日 熊本震災レポート2
- 2016年6月9日 大工たちによる「家長」の記録
- 2016年5月21日 熊本震災調査レポート
- 2016年4月28日 古川 保の熊本市川尻町 震災日誌
- 2016年3月31日 2/16 衆議院第二議員会館 調査報告会レポート
- 2016年1月27日 地域型住宅の省エネルギーを調べる ～2016.1.17 京都フォーラム報告
- 2016年1月14日 第15期 木の家ネット総会 高知大会 ～会員発表編～
- 2015年11月13日 工務店・小田貴さん（オダ工務店）：木の家づくりのプロデューサー

#### 人のある記事

- 伊勢神宮運宮・御袖始發り：300年の大木を伐る！ 18件のビュー
- 家のお風呂 こうやって作る、こうやって保つ 15件のビュー
- 設計士・川端眞さん（川端建築計画）：小さな石場建ての家 11件のビュー
- 設計士・古川保さん（古川設計室）：木の家づくりは仕組みづくり 10件のビュー
- 工務店・西條正幸さん（ピオプラス西條デザイン）：北海道で無垢の木の家づくり 10件のビュー
- 大工・池上算現さん（大工 池上）：長崎県産材100%の家ができるまで 8件のビュー
- 大工・高橋俊和さん（都幾川木建）：初原の営みに魅せられて 8件のビュー
- 大工・宮内寿和さん（宮内建築）：大工が挑戦する「水中乾燥」 8件のビュー
- 工務店・小田貴さん（オダ工務店）：木の家づくりのプロデューサー 8件のビュー
- 設計士・岩波正さん（三和総合設計）：なんで木の家がいいのかわかる、とことん考える 7件のビュー

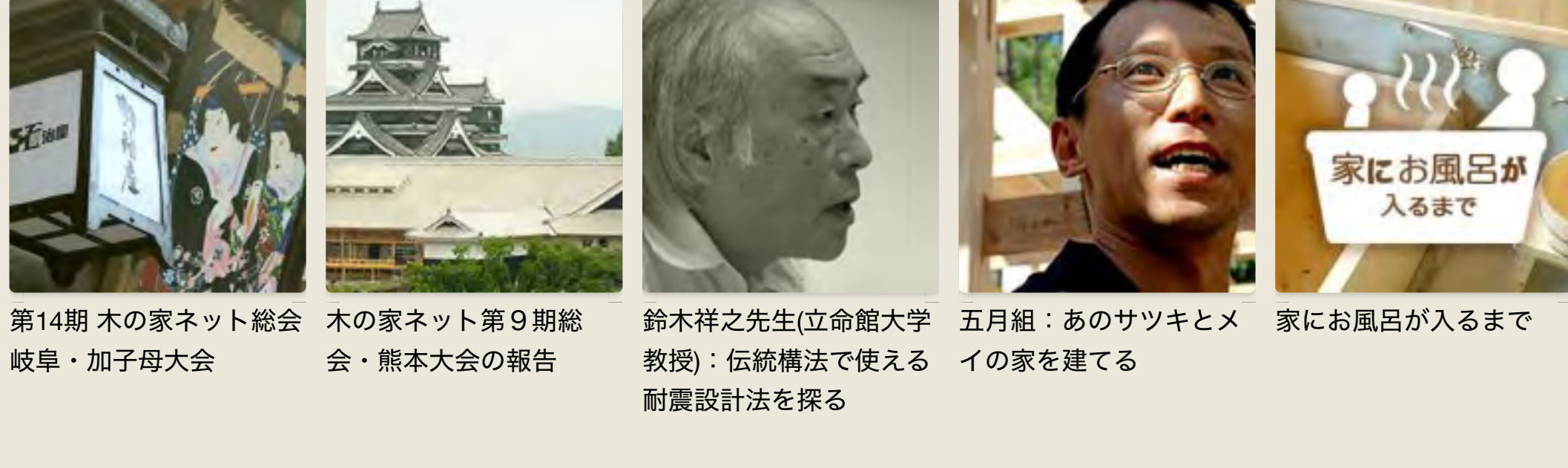
#### この記事のタグ

サツキとメイの家  
日本文化と木の家  
顔の見える関係

#### 同じタグがついた別の記事

- 2004年7月25日 サツキとメイの家を建てる
- 2005年4月27日 サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート

関連する記事はこちら



木の家ネットとは	つくり手リスト	特集	入会案内	イベントカレンダー	問合せ	
北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県	関東（東京以外） 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県 関東（東京） 東京都	甲信越・北陸 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県	東海 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	関西 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	中国・四国 鳥取県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県	九州 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県

〒711-0906  
岡山県倉敷市児島下の町5丁目7-3  
児島倉内  
mail：jimkyoku@kino-ie.net  
tel：086-486-5464